

現在の郡山市の景観は、古くは旧石器時代まで遡り、長い時間をかけて培われてきたものです。特に近年では、明治に始まった安積開拓とそれを支えた安積疏水の開削を礎として、現代の景観が形成されたといえます。

魅力ある景観は、人々の生活に安らぎや潤いを与えるとともに、郡山市に対する誇りと愛着を育むこととなります。

これからの郡山市では、先人から受け継いだ自然や歴史、文化を生かしながら、魅力ある景観の形成を進めていきたいと考えています。

そのためには、市民、事業者、行政が手を取り合って行動していくことが重要です。

そこで本市では、魅力ある景観を形成するために、現在の良好な景観を保全することはもとより、新たに次世代に継承すべき良好な景観を創出することが重要であると考え、「景観づくり」を郡山市固有の魅力ある景観を市民、事業者、行政の協働によって「良好な景観をつくり、そだて、まもる」\*ことと定義し、「景観形成」を「景観づくり」として推進していきます。

※「つくり、そだて、まもる」

平成7年に策定した郡山市都市景観形成基本計画では、守り、育て、創ると表記しています。

郡山市景観づくり基本計画では、これらの意味をより広い意味として考えるためひらがなで表記し、積極的に景観づくりを行っていく姿勢を表す意味で、つくり、そだて、まもるという順に表記しました。